



令和8年度（2026年度）

西唐津中学校教育計画

学校教育目標

自他の「いのち」を尊び、自分の力で未来を切り拓く生徒の育成

めざす学校像

- 子どもが行きたいと思う学校
(安心して授業や部活動に励める)
- 我が子を通わせたいと思う学校
(保護者や地域との密接な連携)
- 教職員が働き甲斐のある学校
(働きやすい環境づくりとチーム対応)

めざす生徒像

- 燦（さん）
明るく笑顔を交わす生徒
- 厳（げん）
自分に厳しくルールやマナーを守る生徒
- 凜（りん）
しっかりと考えて行動する生徒

めざす教師像

- ◇ 学び続ける教師
- ◇ 確かな授業力を持った教師
- ◇ 生徒に寄り添う教師
- ◇ 生徒の個性を伸ばす教師
- ◇ 生徒・保護者・地域に信頼される教師

佐賀県・唐津市の方針

「佐賀県教育施策実施計画」より

- ◆ 志と誇りを高める教育の推進
- ◆ 自分らしく学べる「さがん学び」の推進
- ◆ 健やかな佐賀の子どもを育む教育の推進
- ◆ 誰もが安心して学べる「さがすたいる」
スクール」の推進
- ◆ 教育DX推進と学びを支える環境づくり

「唐津市の教育」より

- ◆ 「生きる力に満ちた人をはぐくむ」
- ◆ 地域の将来を担う人材の育成
- ◆ 人権教育、人権啓発の推進
- ◆ 問題行動、不登校への対応の充実
- ◆ ICT活用教育の推進
- ◆ 食育・健康教育の推進と体位・体力の向上
- ◆ 時代の要請に応える教育の推進
- ◆ 伝統的・歴史的文化の継承

【重点目標】

1 安心・安全な学校づくり

- 生徒も職員も安心・安全に生活できる学校づくり
 - ・生活事故、交通事故の未然防止
 - ・いじめや暴力行為の根絶
 - ・教職員による暴言、体罰の根絶

2 学力向上対策

- 校内研究テーマ「個別最適な学びを推進した授業作りの研究
～生徒の特性に応じた指導を通して～」
 - キャリア教育の充実と早期の目標設定
 - ICTを活用した学習意欲の向上と学力の定着
 - 分かりやすい授業づくりの推進
 - 宿題（課題）の工夫、家庭学習の習慣化
 - ・生徒の実態に応じた課題づくり、家庭との連携を図る。
- ※数値目標を設定し取り組む。

3 生徒指導の充実

- あらゆる場面での規範意識（ルールやマナーを守る意識）の向上
 - ・臨場指導により指導の機会を逃さない。
- 生徒の自主的活動の支援、意図的・計画的な出番づくり
 - ・自主的活動のきっかけとなるような働きかけ、褒める機会を意図的に仕組む。
- 問題行動の早期発見、全教職員での共通理解
 - ・報告、連絡、相談は迅速丁寧。一人で抱え込まない。
- 問題行動への迅速な対応（初期対応を迅速に、丁寧に行う）
 - ・事実確認を早く、丁寧に行い、当事者へ説明する。

4 人権意識の高揚

- 生徒の実態に応じた、きめ細やかな学級経営
- いじめや差別をしない・させない・許さない心情の育成
- 定期的な教育相談の計画（「傾聴」）
- 児童虐待防止
- 道徳の教科化に伴う授業の工夫・改善、評価の工夫を図る。

5 働き方改革の推進

- 目的：「教育は人なり」先生が元気でなければいい教育は行えない。
職員の心身両面の健康を保つ。
- 取組：業務を見直し、働き方改革の意識を高めあう。
執務環境の整理整頓による事務の効率化を図る。